

「総合診療」とは？（その１）

公益財団法人慈愛会 今村総合病院 救急・総合内科 林 恒存
院長 帆北 修一

2017年度からの専門医制度再編にあわせて、19番目の基本領域専門医として「総合診療専門医」が新設され、2018年度からその養成が全国的に始まっている。「原因不明の症状に悩む患者の病名を、総合診療医が解き明かす」といった趣旨のテレビ番組や、増えつつある総合診療科を標榜する大学病院や市中病院などにより、「総合診療」という言葉を見聞きする機会は増えつつある。しかし一般人の多くや、医療従事者の一部でさえも総合診療の役割や専門性などについては正確には理解されていないようである。患者やその家族などから「総合診療科の医者は何科の医者なのか」といった、まるで哲学問答のように聞かれて返答に窮することもある。私は医師になって20余年のうち、結果的に「総合診療」領域で必要とされる知識・技能を研修して現在に至っている。そしてこれまでの経験をもとに後進育成のため、2018年4月に今村総合病院に総合診療専門研修プログラムを立ち上げ、その責任者として総合診療（家庭医療）専門医であるもう1人の指導医の嶺山隼人先生とともに現在4人の専攻医を育成中である。

本稿では、あくまで私自身の理解に基づいて、総合診療とは何を主たる診療業務とし何をもって専門なのかについて2回に分けて概説してみることにする。

1. 総合診療医の医師像とは？

総合診療医はゼロから誕生した新たな医師像というわけではない。実際には総合診療エリアの業務・役割の一端を担っている医師は

何十年も前から身近に多数存在する。地域医療を長年支えている経験豊富な開業医の先生方、医師会が定義している「かかりつけ医」の先生方が多く存在することは理解している。このような先生方からしてみれば「自分は総合診療医であり、そういう役割は何十年も日々の業務の一部として普通にやっている」という認識だと思われる。開業医の先生方の多くがある特定の領域の臓器専門医であり、そのキャリアと専門性を開業後も存分に発揮されているが、特定の専門領域だけでは地域住民のニーズには十分に応えられないので、それ以外の診療エリアも医師個人の自己研鑽と経験蓄積によって習得されたのだらうと思う。そういう先輩方が長年日本の地域医療を支えてきたのは紛れもない事実である。したがって「地域医療を担う専門医」を養成など何をも今さら・・・と、さらに専門医と呼ぶまでもない！と思われているとすれば、それはそれで理屈が通っていると思う。確かにこれまでだったら何も問題はなかったかもしれないが、それは地域住民や社会構造、医療レベルが今後も一切変化しないことが前提の話である。現在、人、社会、医療レベルがすさまじい早さで日々変化している。海外の医学情報がリアルタイムで得られ、医療技術では、神にしかできないと思われていたような技術を人間は獲得しつつある。世の中の誰もが医療情報をはじめ、あらゆる情報をキーワード検索だけで瞬時に得られる。そして極めつけは、未だ制御のメドがたたない認知症を伴う、未曾有で不可避の超高齢社会である。最近声高

に聞かれる「多職種連携」「チーム医療」もしっかりと取り組まないと地域医療が今までどおりでは成り立たないので、分担して専門的に取り組む必要があると思う。この時代の変化への対応の一端が、総合診療領域で専門医を養成することの大義であり、達成すべきミッションであると理解している。

2. 総合診療医はどんな専門家か？

この問いに対してすっきりと回答しにくい理由の1つは、総合診療医がその役割上、スペシャリスト（特定分野の専門家）でもありジェネラリスト（幅広い分野に精通する人）でもあるからだと考えられる。総合診療医は、患者の心身の健康、家族関係、生活状況などを多角的に情報収集して、その人が望む生活を維持してもらえるようにあらゆる専門医や協力者と連携してその解決にあたる。その守備範囲の広さ、具体策をたてるために要求される知識量の豊富さ、そしてコーディネート能力の高さなどが総合診療医に求められ、かつ総合診療医の強みや専門性といえる。さらに大局的・総合的な視点も求められるということでもある。その役割の中で医師としての本業である医学的な知識技能は、プロとしてのレベルを求められるためその質を維持するための絶え間ない学術的な研鑽が必要である。

3. 医学の1領域としての総合診療の位置づけは？

「総合診療」と切り離すことのできない用語として「プライマリケア」「家庭医療」がある。これらは学術的に確立した医学領域として20世紀中頃から欧米を中心に発展し、その理論基盤や専門知識・技能の習得を目的とする専門医養成カリキュラムが多数存在する。代表的なのは、英国のGP(General Practitioner)、米国・カナダ・オーストラリアなどのFP

(Family Physician)、日本語訳なら「家庭医」という名称のプライマリケア領域の認定専門医が、それぞれの国のヘルスケアシステムの構築維持に長年不可欠の存在である。プライマリケアについては国際的にも様々な定義があり、その歴史は1978年の世界保健機関によるアルマ・アタ宣言までさかのぼり、地域や

表1 米国国立科学アカデミー (National Academy of Sciences, NAS) によるプライマリケアの定義 (1996年)

プライマリケアとは、患者の抱える問題の大部分に対処でき、かつ継続的なパートナーシップを築き、家族及び地域という枠組みの中で、責任を持って診療する臨床医によって提供される、総合性と受診のしやすさを特徴とするヘルスケアサービスである。

表2 総合診療専門医に求められている役割 (日本専門医機構 総合診療専門研修プログラム整備基準より抜粋)

＜使命＞

日常遭遇する疾病と傷害等に対して適切な初期対応と、必要に応じた継続的な診療を全人的に提供するとともに、地域のニーズを踏まえた疾病の予防、介護、看とりなど、保健・医療・介護・福祉活動に取り組み、絶えざる自己研鑽を重ねながら、地域で生活する人々の命と健康に関わる幅広い問題について適切に対応する使命を担う。

＜専門研修後の成果＞

地域を支える診療所や病院においては、他の領域別専門医、一般の医師、歯科医師、医療や健康に関わる他職種等と連携して、地域の保健・医療・介護・福祉等の様々な分野におけるリーダーシップを発揮しつつ、多様な医療サービス（在宅医療、緩和ケア、高齢者ケア等を含む）を包括的かつ柔軟に提供できる。

また、総合診療部門（総合診療科・総合内科等）を有する病院においては、臓器別でない病棟診療（高齢入院患者や心理・社会・倫理的問題を含む複数の健康問題を抱える患者の包括ケア、癌・非癌患者の緩和ケア等）と、臓器別でない外来診療（救急や複数の健康問題をもつ患者への包括的ケア）を提供することができる。

役割によって若干異なる定義が以後もなされているが、国際的に多く引用される代表的な定義の1つを示す(表1)。さらに日本の総合診療専門医の整備基準にある使命をみてみると、プライマリケアの専門医として総合診療医が機能することを期待されていることがわかる(表2)。プライマリケアといえば、救急外来での応急処置や、医療資源が限定的な医療機関での初期対応のことだと多くの場合とらえられがちだが、これはプライマリケアのごく一部である。primaryには「初期の・1次の」という意味に加えて「最重要の・基本となる」という意味もあり、プライマリケアは地域住民が健やかに安心して住まいで生活できるように「基本的かつ最重要のもの」を包括的にそして継続的にケアすることが主たる役割である。この説明は、近年厚労省が提唱している「地域包括ケアシステム」にある理念とほぼ一致し、その点でも総合診療医が地域包括ケアシステム構築に一役買えるということを示している。そのため総合診療医は、疾病予防・健康増進に寄与する相当量の知識技能のマスターが不可欠であり、日々研鑽が必要である。

4. おわりに

総合診療に従事する医師の役割、専門性、必要性、学問的な位置づけなどについてその一部を紹介した。総合診療医に必要な具体的な習得内容、総合内科との関係性、他領域専門科や職種、地域住民、医療経済・経営にもたらす恩恵、期待できる将来性などについても取り上げて、総合診療の存在意義について次回概説させていただきたいと考えている。

引用文献、ウェブサイトとしては以下のものがあります。ご参照ください。

参考文献・ウェブサイト

- 1) Freeman TR: McWhinney's Textbook of Family Medicine. 4th ed. Oxford University Press 2016.
- 2) Primary Care: America's Health in a New Era. Washington, DC: The National Academies Press.
<https://www.nap.edu/catalog/5152/primary-care-americas-health-in-a-new-era> (2019年5月15日最終アクセス)
- 3) American Academy of Family Physician.
<https://www.aafp.org/about/policies/all/primary-care.html> (2019年5月15日最終アクセス)
- 4) World Health Organization.
<https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/primary-health-care> (2019年5月15日最終アクセス)
- 5) WONCA Europe. European Definition of General Practice and Family Medicine, 2011
- 6) 一般社団法人日本専門医機構
<https://www.japan-senmon-i.jp/comprehensive.html> (2019年5月15日最終アクセス)
- 7) 一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会.
<http://www.primarycare.or.jp/paramedic/index.html> (2019年5月15日最終アクセス)